

■ 災害履歴図について

災害履歴図は、地方公共団体や関係行政機関、研究機関、大学等が調査した水害、地震災害、土砂災害等の現地調査図等の資料より、調査地域内で過去に発生した災害による被害区域や被害箇所に関する情報を示した地図です。ここで提供する情報は、概ね5万分の1程度の縮尺レベルで作成されており、位置誤差を含むほか、地図上で表示をまとめたり省略したりしている場合があります。

また、引用する被害調査図等の資料が不十分なため、地図に掲載されていない災害もあります。被害の場所等を特定できない災害等については、別途**災害年表**や**調査説明書**に記載している場合がありますので、合わせて参照してください。

なお、災害発生後の堤防整備や下水道整備、地盤の改良等の防災対策が行われている場合などには、災害発生当時に比べて、現在は土地の安全性が向上している可能性がありますのでご留意願います。

桑名の災害履歴図の作成にあたっては、以下の資料を引用しました。

○災害履歴(水害)

1. 1959年9月降雨(伊勢湾台風)

浸水範囲を以下の資料より転載

- ・建設省地理調査所(1960)『洪水被害状況図』
- ・四日市市(2005)『四日市市既往浸水地域図』
- ・三重県(1959)『伊勢湾台風被害概要図(伊勢湾台風災害対策緊急版)』

2. 1974年7月降雨(豪雨)

浸水範囲を以下の資料より転載

- ・愛知県(1983)『昭和49年7月豪雨、昭和51年9月豪雨 日光川流域浸水実績図(筏川・鍋田川流域を含む)』
- ・建設省中部地方建設局(1982)『昭和49年7月洪水湛水区域(写真集 木曾三川の水害)』
- ・建設省中部地方建設局(1982)『昭和51年9月湛水区域(写真集 木曾三川の水害)』
- ・建設省中部地方建設局(1981)『写真集 中部の水害』
- ・四日市市(2005)『四日市市既往浸水地域図』

3. 1976年9月降雨(台風17号)

- ・愛知県(1983)『昭和49年7月豪雨、昭和51年9月豪雨 日光川流域浸水実績図(筏川・鍋田川流域を含む)』
- ・建設省中部地方建設局(1976)『木曾川水系における湛水状況 昭和51年9月8日～13日(昭和51年台風17号と前線による災害)』
- ・四日市市(2005)『四日市市既往浸水地域図』

○災害履歴（土砂災害）

土砂災害発生箇所を三重県河川・砂防課提供資料より編集

○災害履歴（地震災害）

1. 1944年東南海地震被害

・建物被害は、飯田汲事（1985）『昭和19年12月7日東南海地震の震害と震度分布，東海地方地震・津波災害誌（飯田汲事教授論文選集）』より転載。

2. 液状化地点

・液状化地点は、若松加寿江（2011）『日本の液状化履歴マップ 745-2008（DVD-ROM 付き）（No:JLM1473）』より転載。

3. 津波の高さ

・津波の高さは、渡辺偉夫（1998）『日本被害津波総覧（第2版）』より転載。

○災害履歴（地盤沈下）

1. 地盤沈下量

・中部地方整備局「東海三県地盤沈下調査会 地盤沈下データ」より転載。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、空中写真、数値地図 50000（地図画像）、数値地図 25000（土地条件）及び基盤地図情報を使用した。（承認番号 平24 情使、第534号）」